

令和6年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年5月15日

上場会社名 株式会社バルコス

上場取引所 東

コード番号 7790

URL <https://www.barcos.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 敬

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐伯 英樹

(TEL) 0858(48)1440

四半期発行情報提出予定日 令和6年5月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第1四半期の連結業績(令和6年1月1日~令和6年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和6年12月期第1四半期	1,096	29.0	△114	-	△115	-	△89	-
令和5年12月期第1四半期	849	△38.9	37	△61.8	31	△67.7	12	△79.9

(注) 包括利益 令和6年12月期第1四半期 △85百万円(-%) 令和5年12月期第1四半期 12百万円(△78.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和6年12月期第1四半期	△78. 53	-
令和5年12月期第1四半期	10. 76	-

(注) 令和5年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。令和6年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和6年12月期第1四半期	4,068	405	10.0
令和5年12月期	4,208	491	11.7

(参考) 自己資本 令和6年12月期第1四半期 405百万円 令和5年12月期 491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和5年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
令和6年12月期	-				
令和6年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年12月期の連結業績予想（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,065	31.3	329	177.6	301	150.4	157	267.8	138.	17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名)株式会社 immunity、除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

令和6年12月期1Q	1,140,000株	令和5年12月期	1,140,000株
令和6年12月期1Q	-株	令和5年12月期	-株
令和6年12月期1Q	1,140,000株	令和5年12月期1Q	1,140,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料4ページ目「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（令和6年1月1日から令和6年3月31日）における世界経済は、世界的なインフレ進行に対する各国の金融引き締めの影響が広がることに伴う景気後退への懸念、中国の経済成長の鈍化に加え、地政学的リスクの継続など、不透明かつ不安定な状況が継続しています。国内経済においては、長引く円安の影響により国内物価が上昇し、その上昇に所得の伸びが追いつかず国内個人消費に暗い影を落としております。

このような状況下において当社グループでは、積極的にM&Aを行うことで優れた技術力・ノウハウ・人材をグループに取り入れる努力を行ってきました。ライフスタイル提案事業において新たに株式会社immunityをグループに迎え、当社グループが目指す中期経営ビジョン「美しく豊かに暮らす」を実現するため、より広い年齢層により多くの商品やサービスを提供できるグループへと拡大いたしました。また、円安に対応するため2年前より内製化の対応を進め、現在の円安水準でも利益が確保できる体制を構築しております。今後為替相場が円高に進行する状況になれば更に利益が増加する見込みとなっております。

各セグメントが実施した具体的な施策は以下のとおりとなります。

ライフスタイル提案事業では、令和6年新作グッドラックウォレット「ポンテピッコラ」の販売を本格的に開始しました。今年的主力商品である「ポンテピッコラ」は販売開始から想定を超える受注を受けることができましたが、生産国である中国の旧正月のタイミングが合わず生産がまったく追いつかない状況となり、令和6年3月末時点の受注残が6万個を超える状況となりました。この売上は第2四半期の収益となる予定です。一時的に業績が悪化しているように見えますが、受注売上は計画どおり進んでおり、受注残の納品も第2四半期末までには完了する見込みとなっております。

また、インフォマーシャルと連動したFacebook広告、Instagram広告の効率的配信のノウハウが社内に蓄積されてきたことも効果として現れはじめ、ECの売上も拡大してまいりました。2022年より本格的に開始している自社カタログの通信販売は冊子のクオリティが向上し、販売効率が上がるとともにメディアとしても有力なメディアとして成長し、広告収入も安定してきました。

昨年当社グループへ加わった株式会社BFLOATでは、システムを駆使したECプラットフォームでのモール販売に加え自社オンラインサイトでの販売が拡大してきており、今後の利益率の向上が期待されます。また、株式会社BFLOATの持つECモール販売のノウハウを当社の事業にも流用しており当社のECモールでの販売を拡大してまいります。

メディアクリエイティブ事業では、既存事業である配信型ビジネスに加えオウンドメディア型ビジネスを開始しました。配信型ビジネスでは、昨年よりLINEヤフー株式会社に加え、新たに共同通信社への配信を始め、収益が拡大してまいりました。オウンドメディア型ビジネスでは自分たちで集客できるSNSメディア「petrel」の運用を開始しました。現在このメディアは23万

人を超えるフォロワーを抱えており、今後は「petrel」を基軸として広告タイアップ型の商品販売や広告運用ビジネスを始めていく予定です。

不動産事業では、引き続き安定的な収益を確保しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,096,232千円（前年同期比29.0%増加）、営業損失は114,972千円（前年同期は営業利益37,590千円）、経常損失は115,830千円（前年同期は経常利益31,314千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は89,520千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益12,262千円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（ライフスタイル提案事業）

ライフスタイル提案事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,015,784千円（前年同期比29.8%増加）、セグメント損失43,519千円（前年同期はセグメント利益108,120千円）となりました。

（メディアクリエイティブ事業）

メディアクリエイティブ事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高74,752千円（前年同期比23.3%増加）、セグメント損失は11,482千円（前年同期はセグメント損失10,679千円）となりました。

（不動産事業）

不動産事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,695千円（前年同期比17.7%減少）、セグメント利益は576千円（前年同期比4.7%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,807,401千円（前連結会計年度末は、1,994,716千円）となり187,315千円減少しました。現金及び預金が20,035千円、前渡金が35,096千円増加したものの、受取手形及び売掛金が246,132千円減少したことが主な要因であります。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、2,260,979千円（前連結会計年度末は、2,200,455千円）となり60,524千円増加しました。のれんが16,008千円、繰延税金資産が33,078千円増加したことが主な要因であります。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,629,954千円（前連結会計年度末は、1,644,478千円）となり14,523千円減少しました。1年内返済予定の長期借入金が26,254千円、未払金が18,375千円増加したものの、支払手形及び買掛金が9,175千円、返金負債が10,842千円、流動負

債の「その他」が33,874千円減少したことが主な要因であります。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2,032,931千円（前連結会計年度末は、2,059,486千円）となり26,555千円減少しました。長期借入金が20,393千円減少したことが主な要因であります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、405,495千円（前連結会計年度末は、491,207千円）となり85,712千円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純損失が89,520千円となったことにより利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年12月期の連結業績予想につきましては、令和6年2月14日の「令和5年12月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

一方、当社グループは令和6年2月22日にSNSマーケティングを駆使した女性向け商品の企画・販売を行う株式会社immunityを連結子会社としております。現在、本件株式取得に伴う影響を精査した上で事業計画の策定を行っているため、令和6年12月期の当社連結業績に与える影響は現在算定中であります。

連結業績予想については、それらの状況を合理的に数値に反映させた上で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	740,175	760,211
受取手形及び売掛金	558,922	312,790
商品	482,972	499,184
原材料及び貯蔵品	3,753	3,373
返品資産	9,914	1,271
前渡金	111,130	146,226
その他	87,924	84,385
貸倒引当金	△76	△42
流動資産合計	1,994,716	1,807,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	299,312	295,047
機械装置及び運搬具（純額）	9,083	8,185
工具、器具及び備品（純額）	6,498	6,074
土地	363,972	363,972
建設仮勘定	660	660
その他（純額）	249	598
有形固定資産合計	679,776	674,538
無形固定資産		
商標権	507,243	499,734
のれん	790,953	806,962
その他	7,387	9,449
無形固定資産合計	1,305,584	1,316,146
投資その他の資産		
投資有価証券	36,950	43,328
長期前払費用	14,166	10,483
繰延税金資産	69,097	102,176
その他	94,879	114,305
投資その他の資産合計	215,094	270,294
固定資産合計	2,200,455	2,260,979
資産合計	4,195,172	4,068,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,027	53,851
短期借入金	850,000	851,015
1年内返済予定の長期借入金	353,920	380,174
未払金	240,019	258,395
未払法人税等	26,302	22,760
リース債務	2,624	2,464
賞与引当金	11,654	9,079
返金負債	13,161	2,319
その他	83,768	49,893
流動負債合計	1,644,478	1,629,954
固定負債		
長期借入金	1,841,263	1,820,870
リース債務	1,233	637
繰延税金負債	168,763	165,261
退職給付に係る負債	32,971	31,493
資産除去債務	8,213	8,216
その他	7,042	6,451
固定負債合計	2,059,486	2,032,931
負債合計	3,703,965	3,662,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	22,000	22,000
利益剰余金	432,946	343,425
株主資本合計	484,946	395,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,268	10,267
為替換算調整勘定	△7	△197
その他の包括利益累計額合計	6,261	10,070
純資産合計	491,207	405,495
負債純資産合計	4,195,172	4,068,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	849,857	1,096,232
売上原価	222,437	344,935
売上総利益	627,420	751,296
販売費及び一般管理費	589,830	866,269
営業利益又は営業損失(△)	37,590	△114,972
営業外収益		
受取利息	3,062	1,184
為替差益	5,079	1,333
補助金収入	1,466	171
その他	1,591	1,993
営業外収益合計	11,200	4,683
営業外費用		
支払利息	4,451	5,540
シンジケートローン手数料	13,000	-
その他	24	0
営業外費用合計	17,476	5,540
経常利益又は経常損失(△)	31,314	△115,830
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期損失(△)	31,314	△115,830
法人税、住民税及び事業税	1,232	9,942
法人税等調整額	17,819	△36,251
法人税等合計	19,052	△26,309
四半期純利益又は四半期純損失	12,262	△89,520
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,262	△89,520

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
四半期純利益	12,262	△89,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	493	3,999
為替換算調整勘定	△58	△190
その他の包括利益合計	434	3,808
四半期包括利益	12,696	△85,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,696	△85,712
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ライフ スタイル 提案事業	メディア クリエイ ティブ 事業	不動産 事業	計		
売上高						
バッグ	266,291	-	-	266,291	-	266,291
財布	378,080	-	-	378,080	-	378,080
服飾雑貨	3,994	-	-	3,994	-	3,994
その他	133,964	60,603	-	194,567	-	194,567
顧客との契約から生 じる収益	782,331	60,603	-	842,935	-	842,935
その他の収益 (注) 3	-	-	6,922	6,922	-	6,922
外部顧客への売上高	782,331	60,603	6,922	849,857	-	849,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	782,331	60,603	6,922	849,857	-	849,857
セグメント利益 又は損失 (△)	108,120	△10,679	605	98,046	△60,456	37,590

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△60,456千円は、セグメント間取引消去18,000千円および報告セグメントに配分していない全社費用△78,456千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

メディアクリエイティブ事業セグメントにおいて、株式会社コリーから事業譲受によるのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、10,000千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ライフ スタイル 提案事業	メディア クリエイ ティブ 事業	不動産 事業	計		
売上高						
バッグ	158,474	-	-	158,474	-	158,474
財布	378,284	-	-	378,284	-	378,284
服飾雑貨	316,520	-	-	316,520	-	316,520
その他	162,505	74,752	-	237,257	-	237,257
顧客との契約から生 じる収益	1,015,784	74,752	-	1,090,537	-	1,090,537
その他の収益(注)3	-	-	5,695	5,695	-	5,695
外部顧客への売上高	1,015,784	74,752	5,695	1,096,232	-	1,096,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,015,784	74,752	5,695	1,096,232	-	1,096,232
セグメント利益 又は損失(△)	△43,519	△11,482	576	△54,425	△60,547	△114,972

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△60,547千円は、報告セグメントに配分していない
 全社収益9,000千円および全社費用△69,547千円であります。全社費用は、主に報告セグメント
 に帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

4. 従来、顧客との契約から生じる収益を分解した情報を「バッグ」、「財布」、「その他」に
 区分しておりましたが、前第2四半期連結会計期間において株式会社BFLATHOLDINGSの株式を取得し連結子会社としたことで、服飾雑貨に係る売上高の重要性が高まったこと
 から、前第3四半期連結会計期間より、上記の区分に変更しております。なお、前第1四半期
 連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、当該変更後の区分に基づき作
 成したものを記載しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において株式会社BFLATHOLDINGS及び株式会社トリプル・オーの株式を取得し連結子会社としたことに伴い事業セグメントの整理を行い、前第3四半期
 連結会計期間より、従来「皮革製品販売事業」としていた報告セグメント名称を「ライフスタイル
 提案事業」に、「メディア事業」としていた報告セグメント名称を「メディアクリエイティブ事
 業」に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグ
 メント情報は、変更後の報告セグメントの名称により作成しておりますが、報告セグメントの名称変
 更によるセグメント情報に与える影響はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

ライフスタイル提案事業セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に株式会社 immunity の株式を取得したことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、38,874千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。